

【 障がい者向け教室に関するアンケート 】

これまで吹田視覚障害者福祉会が主体となって教室運営を行ってありました「料理教室」「民謡教室」「社交ダンス教室」を、同会での運営が困難となったことにより、令和4年度は総合福祉会館が主体となって行うこととなりました。

令和5年度からは、障がい者向け教室をよりよいものにするため、事業内容を検討しています。そこで、委員の皆様にアンケートを実施し、事業実施の参考にさせていただきたいと考えております。

お忙しいところ恐縮ですが、以下のアンケートにご回答くださいますようよろしくお願いいたします。該当する番号を口にご記入してください。

1. これまで、視覚障がい者とその他の障がい者を分けて教室運営を行ってありました。今後の教室運営についてお尋ねします。

- ① 視覚障がい者とその他の障がい者を別にして教室運営を行う
② 視覚障がい者とその他の障がい者を一緒にして教室運営を行う

(選ばれた理由や御意見)

2. 現在、陶芸教室、七宝焼教室、ストレッチ体操は、前期と後期で参加者を固定しています。料理教室、民謡教室、社交ダンス教室は、その都度募集を行っています。陶芸教室や七宝焼教室は、作品の大きさなどで作品が出来上がるまでに時間が左右されるため、固定しておく必要がありますが、それ以外の4教室はその都度、募集を行う方がよろしいでしょうか。

- ① 今のままでいい
② その都度、参加者を募集するべき
③ 全て、参加者を固定する

(選ばれた理由や御意見)

3. 現在の教室以外に実施した方が良いと思われる、障害者向け教室がございましたら、御記入の程よろしく申し上げます。

※参考までに、平成30年に総合福祉会館に登録している障がい者福祉団体及び教室に参加されている方に行ったアンケートのうち、開催して欲しいと要望が多かった教室を記載いたします。

- ・創作系： 絵画、ステンドグラス、折り紙など
- ・文化系： マジック、カラオケ、囲碁など
- ・運動系： ヨガ、フラダンスなど
- ・その他： 講演会など（福祉関係、税金など）

4. 自由意見欄

アンケートは以上です。ありがとうございました。